

株主の皆様へ

第60期
株主通信

2023年1月1日～2023年12月31日

 タカコプラインドグループ
富士変速機株式会社

証券コード：6295

環境調和型企业をめざして お客様の理想をカタチに

富士変速機の製品は、暮らしのどこかでつながっています。



株主の皆様へ



代表取締役社長

市原 英孝

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2023年12月31日をもって第60期（2023年1月1日から2023年12月31日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年 3月

企業理念

我社は顧客の視点に立ち、動力伝導技術をコアコンピタンス事業とし、常に新技術を深究し、顧客の繁栄と社会の発展に貢献することを目的とする。

目次	株主の皆様へ……………	1	製品紹介……………	5
	事業の概況……………	2	会社概要……………	9
	セグメントの概況……………	3	株式の状況……………	10
	財務諸表……………	4	株主メモ	

事業の概況

会社の事業の経過および成果／業績見通し

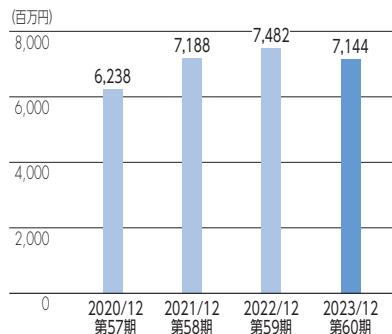
当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が解除され、個人消費が堅調に推移するとともに、円安に伴う外国人観光客の増加等により、景気は緩やかな回復基調となる一方、原材料価格の高止まりや中国経済の先行き懸念もあり、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。このような環境のもと、当社におきましては、差別化戦略に基づく当社の強みや技術を活

かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。この結果、当期の売上高は7,144百万円（前期比4.5%減）、営業利益は517百万円（前期比2.9%増）、経常利益は547百万円（前期比3.0%増）、当期純利益は394百万円（前期比9.7%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、売上高7,420百万円、営業利益520百万円、経常利益550百万円、当期純利益400百万円を見込んでおります。

当期の概要

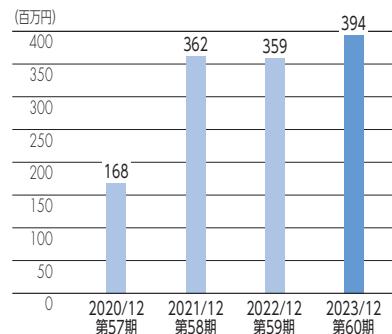
売上高



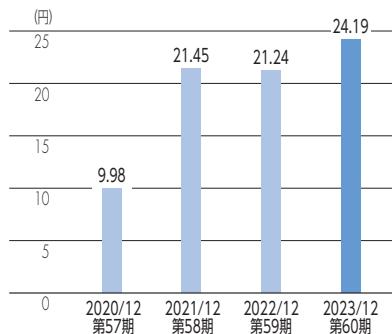
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



総資産・純資産/自己資本比率

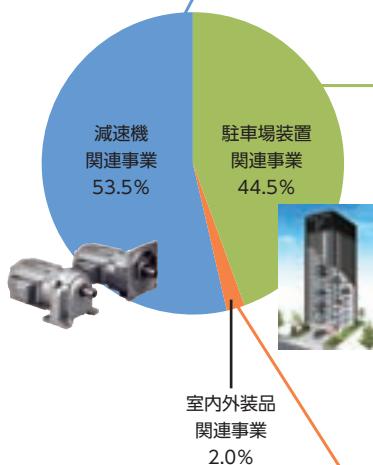


1株当たりの配当金の推移/配当性向



セグメントの概況

事業別売上高構成比



減速機関連事業

売上高
3,822百万円
(前期比 1.2%増)

各種産業用減速機の受注が堅調に推移いたしました

機械需要に弱さがみられる中、定番製品に加え無人搬送台車駆動用減速機など、当社が得意とする個別製品をはじめとした各種産業用減速機の受注が堅調に推移したことで、売上高は3,822百万円（前期比1.2%増）となりました。営業利益につきましては、材料価格高騰の影響もありますが、価格改定などにより334百万円（前期比36.5%増）となりました。



駐車場装置関連事業

売上高
3,181百万円
(前期比 9.9%減)

改修や保守が順調に推移いたしました

既存納入物件に対する付加価値提案による改修や保守が順調に推移した一方、主力製品のパズルタワーでは、工期変更や昨年迄のコロナ禍における受注停滞による前年反動の影響等により、売上高は3,181百万円（前期比9.9%減）となりました。営業利益につきましては、売上高の減少や資材価格高騰の影響等により、226百万円（前期比22.0%減）となりました。



室内外装品関連事業

売上高
140百万円
(前期比 18.8%減)

対処すべき課題

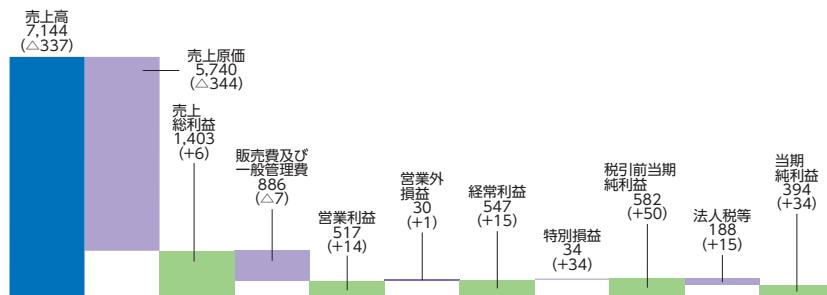
今後のわが国経済の見通しは、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が解除され国内消費の回復が期待される一方、原材料価格の高止まり、海外における地政学リスクや中国経済の先行き懸念など、経営環境は予測を許さない状況が続くものと思われま。

このような環境のもと、当社におきましては、中核技術である動力伝導技術に中期的な対策と資源を集中するとともに、新規顧客開拓や生産体制の最適化に注力し、いかなる事業環境の変化にも対応出来るよう努めてまいります。

財務諸表

損益計算書

(単位：百万円)

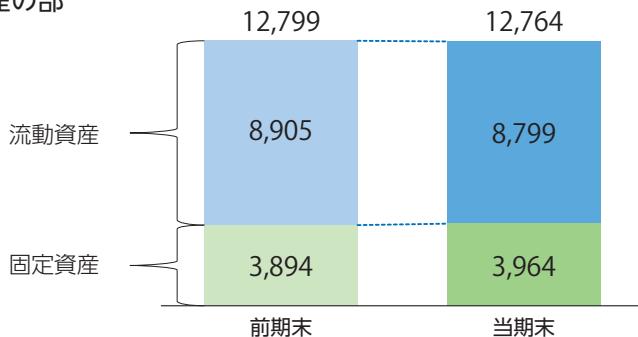


※ 括弧内は対前期比

貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部



1 資産

流動資産は、現金及び預金が増加した一方で、パーキング工事契約に基づく契約資産が減少したことなどにより、前期末に比べ106百万円減少し8,799百万円となりました。

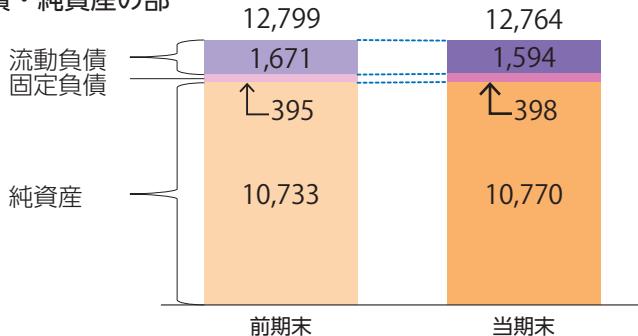
固定資産は、保有株式の株価上昇等により投資有価証券が増加したことなどにより、前期末に比べ70百万円増加し3,964百万円となりました。

2 負債

流動負債は、支払手形が減少したことなどにより、前期末に比べ76百万円減少し1,594百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が増加したことなどにより、前期末に比べ3百万円増加し398百万円となりました。

負債・純資産の部



3 純資産

純資産は、自己株式の取得があった一方で、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べ37百万円増加し10,770百万円となりました。

富士変速機のギヤードモータは暮らしのどこかでつながっています。

確かな技術と信頼で選ばれている 富士変速機のギヤードモータが 暮らし・産業のさまざまな シーンで活躍しています

多様化するメカトロニクスにお応えし、多種多様な変・減速機の応用製品を生み出しています。
産業分野から暮らしの分野まで幅広く利用されています。

産業分野

定番減速機 (ギヤードモータ)

VX Series 平行軸

VC Series 直交軸



共通特長

- インバータによる可変速運転が可能
- ブレーキ手動解放装置付
- 端子BOX90°位置変更可
- 小型・軽量 ●低騒音・長寿命
- メンテナンスフリー

暮らしの分野

暮らしの分野で活躍するギヤードモータ

かけがえのない生命と財産をまもる 万一の際に安心な消防用非常装置 『ジェットセイバー』

減速機のノウハウを応用したシャッター駆動装置。
その中でもジェットセイバーは優れた技術力を結集して開発した電動シャッター水圧開放装置です。
非常の際、消防車の強力な送水圧で外部よりタービンを回し、シャッターを開放。わずか1分で消防隊が消火活動に移れる状態にし、かけがえのない人命の救出や、大切な財産の消失防止に役立ちます。



サーボモータ事業譲受に関するお知らせ

当社は多様化するメカトロニクスに対応する為、歯車伝導技術を駆使した変速機・減速機や、駆動回転技術に係るシステム製品の設計開発・製造販売を行なう事で、産業分野から暮らしの分野においてお客様のニーズにお応えしております。

特に近年、市場においては生産・物流現場の自動化需要が旺盛であり、当社としても将来的に減速機事業拡大を目指すには、既存事業とシナジー効果が見込めるサーボモータ事業の譲受けが有効と考え、当社減速機納入先よりの事業譲渡契約の締結に至りました。

事業譲受期日：2024年1月1日

事業譲受の内容

対象事業：バッテリー駆動のACサーボモータ、及びドライバの設計開発・製造販売

AGV等への対応例

0.1kWから55kWまでラインナップがあり、物流用AGVの他、重量級の特種産業車輛まで対応可能



サーボモータ・ドライバ (0.1kW~55kW)



バッテリー駆動サーボモータ付き減速機 (搬送台車駆動用)

独自技術をベースに
画期的なパーキングシステムを創造しています。

「くし歯」方式をはじめ、独自技術で 業界トップクラスの入出庫スピード 高い安全性と省エネを実現 駐車場の新世代をリードする “パズルタワー”

超高層パズルタワー
(ビル内に設置できる超高層タイプ)



パズルタワーの特長

ハイスピード

昇降路での車の受け渡しを瞬時に行うパレットレス方式を採用し、無駄のない動きで、パレット方式と比較して業界トップクラスの処理能力を誇ります。

耐震構造 低騒音・低振動

当社独自の設計で、すぐれた耐震性を有しています。リフトは低騒音・低振動設計で、きわめて静かな高速運転により深夜でも安心です。

省エネ

入出庫時は、必要な1台だけを動かすため、消費電力量は従来比1/2で済みます。

安全性

当社独自のトータル品質管理システムを導入し、人と車の安全面を考慮して、二重三重の安全を確保しています。

立地条件や用途に合わせて
充実したパーキングシステムラインナップを展開
オーナー様のあらゆるニーズに対応しています

スーパーパズルGS、LB (中規模、大規模地下式駐車場)



ウェルポートパズルタワーF (バリアフリー立体駐車場)



ペアパーク、アベルート (2段式駐車装置)



EV・PHVパズルタワー (EV・PHV充電システム)



新製品

エレベーター方式・くし歯式パーキング パズルタワーがさらなる進化を遂げました。

パズルタワービヨンド

比類のないハイスピードな入出庫をはじめ、低騒音・低振動、耐震性、省エネを実現したエレベーター方式・くし歯式のパーキングシステム「パズルタワー」が「パズルタワービヨンド」としてさらに進化しました。



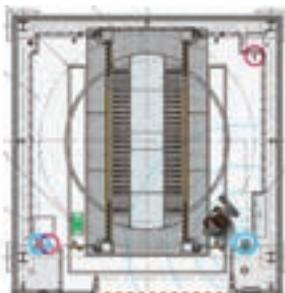
入庫可能サイズ	従来型パズルタワー	パズルタワービヨンド
全長(mm)	5,300	5,400
全幅(mm)	2,000	2,300
全高(mm)	2,050	2,500
車両重量(kg)	2,500	3,000
タイヤ幅(mm)	1,940	2,100

入出庫可能な車種拡大

パズルタワービヨンドは、従来型パズルタワー（5L）に比べ、より大型の車両に対応、国内で正規販売されている自動車のほぼすべてが入庫可能となります。



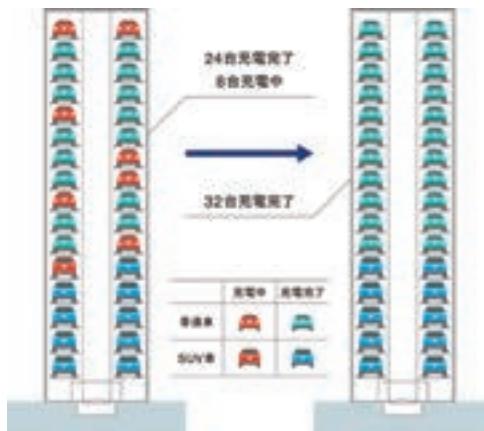
- 監視カメラ
- 人存在検知装置
- *** 侵入検知装置



オートゲートクローズシステム

オプション

AIセンサとAI画像処理による安全確認で自動でゲートを閉めるため、利用者が自動車から降りて操作する必要はありません。



EV充電システム

オプション

充電システムを全社室に装備することができ、加速するEV車の普及に対応しています。

会社概要

社名	富士変速機株式会社
英文社名	FUJI HENSOKUKI CO.,LTD.
本社	岐阜県岐阜市中洲町18
	電話 (058) 271-6521 (代表)
創業	1947年4月
設立	1965年1月
資本金	25億750万円
岐阜県知事許可	建築工事業 (特-2) 第10684号 機械器具設置工事業 (特-2) 第10684号 電気工事業 (般-2) 第10684号
上場取引所	名古屋証券取引所 メイン市場
証券コード	6295
従業員数	227名 (男性202名 女性25名)

主要な事業所

美濃工場	岐阜県美濃市極楽寺963-1
テクノパーク工場	岐阜県美濃市楓台7
東京支店	東京都新宿区西新宿4-15-3

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)

(2024年3月22日現在)

代表取締役社長	市原英孝
取締役	蓮井隆之
取締役	山田昭広
取締役	佐野通彦
取締役	佐藤宏之

監査等委員である取締役

(2024年3月22日現在)

取締役	永田克巳
取締役	中丸公之
取締役	和田恵

(注) 取締役の中丸公之、和田恵の両氏は、社外取締役であります。

当社ホームページをご覧ください

<https://www.fujihensokuki.co.jp/>



株主・投資家向けのIR情報から取扱い製品まで、会社の幅広い情報を提供しております。ぜひ一度、ご覧ください。

「メカトロテック ジャパン2023」に 出展いたしました。

2023年10月18日(水)~21日(土)の4日間、国内最大級の工作機械見本市「メカトロテックジャパン2023」がポートメッセなごやで開催され、販売代理店様のブース内に、協賛出展しました。

当社ブースでは、AGV(無人搬送台車)用ギヤードモータやDCブラシレスケース一体型ギヤードモータなどのデモ機を展示し、多くの来場者に注目を頂きました。



株式の状況 (2023年12月31日現在)

株式の状況

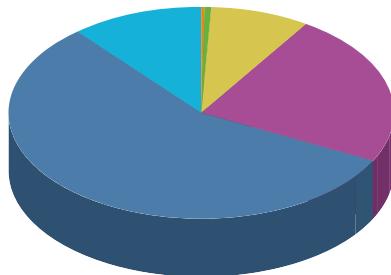
発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	17,955,000株
単元株式数	100株
株主数	1,552名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
立川ブラインド工業株式会社	9,393	58.88
富士変速機取引先持株会	1,689	10.59
株式会社愛知銀行	526	3.30
岐阜信用金庫	437	2.74
富士変速機従業員持株会	261	1.63
岐阜商工信用組合	141	0.88
第一生命保険株式会社	141	0.88
株式会社大垣共立銀行	121	0.76
三相電機株式会社	117	0.73
田中良典	112	0.70

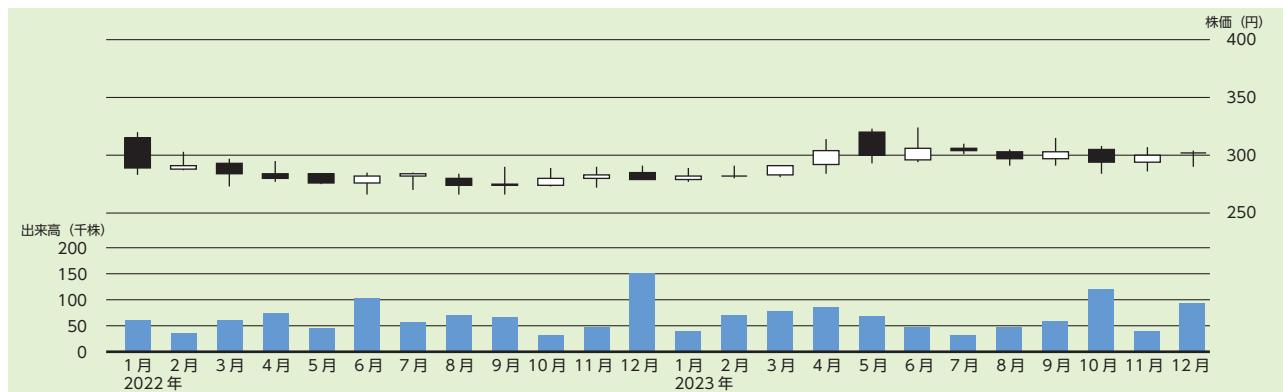
(注) 1. 当社は、自己株式2,004千株を保有しておりますが、当該株式に議決権がないため、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 千株未満は切り捨てて表示しております。

所有者株式数別分布状況



外国人	証券会社
2名	10名
2,600株	27,594株
0.02%	0.15%
金融機関	個人・その他
9名	1,481名
1,521,300株	4,201,734株
8.47%	23.40%
その他国内法人	自己名義株式
49名	1名
10,197,417株	2,004,355株
56.80%	11.16%

株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	期末配当：12月31日 中間配当：6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 https://www.fujihensokuki.co.jp/ir/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことが出来ます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等で行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。